

20

ネット及びその他の工事

1

フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備 考
	・直敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(1)～(3)による ・
厚さ ±0.5mm
平ら度 パネル周辺部 1.0mm以下
 心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製（仕上げ： ） ・
スロープ及びボーダー ・製造所の仕様による ・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30パーセント
・
配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上
・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル ・なし ・あり（形式、施工箇所：図示）

2

可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	構成機材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性能 (dB/500Hz)	防火性能
	スタッド	パネル		材質	厚さ (mm)		
・スタッド式 （内蔵） ・スタッド式 （露出） ・スタッドパネ ル式 ・パネル式				・銅板 ・	・メラミン樹脂 ・0.6 ・0.8 ・焼付又はアク リル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具 ・あり（※図示 ・ ） ・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

3

移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法	圧縮装置の 操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (dB/500Hz)
				材質	パネル表面仕上げ	
・平行方向 ・移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式 ・	・フッシュ式 ・ハンドル式 ・		・銅板 ・	・メラミン樹脂 ・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
遮音性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強
する。
・図示

4

トイレブース

(20.2.5)

表面材の材質	脚 部	ドアエッジ	
	形 状	形 状	材 質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

5

視覚障害者用床タイル

(11.2.2) (19.2.2)

施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0 ・
	・磁器質タイル（〔I〕類） ・せっ器質タイル（〔II〕類）	・300×300	・
	・レジンココンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・
	・磁器質タイル（〔I〕類） ・せっ器質タイル（〔II〕類）	・300×300	・
屋外	・レジンココンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・

ブロックパターンは JIS T 9251 による

6

階段滑り止め

(20.2.6)

材 種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製（SUS 304） ビニルタイヤ入り ・	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ステンレス製 ・ステンレス製 ・なし —

7

手すり

材 種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
※集成材	・クイヤラッカー ・	・35 ・45 ・		
・ステンレスパイプ	・HL ・			
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP ・			
・ビニル製ハンドレール				

8

黒板及び
ホワイトボード

☑

種 類		寸法 (mm)	色		形 式	
・黒板	※焼付け ・		※緑 ・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面 ・		
・ホワイト ボード	※ほうろう		白	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面 ・		

取付箇所 （ ）
寸法 (mm) ・図示 ・
厚さ (mm) ※5 ・

9

鏡

(20.2.9)

10

表示

(20.2.10)

区 分	材 質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備 考
・衝突防止表示 （・両面 ・片面）	・ステンレス製 ・図示	・30φ ・図示	・市販品 ・	・図示 ・	
・室名札	・亚克力板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・案内用図記号	・亚克力板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・とびら番号	・亚克力板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・庁舎案内板	・亚克力板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・各階案内板	・亚克力板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・					

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。
色、書体、印刷等の種類、取付け形式等は図示による。

11

煙突ライニング

(20.2.11)

煙突用成形ライニング材 ・適用する ・適用しない
適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃ ・
キャストابل耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする

12

ブラインド

(20.2.12)

形 式	操作方法	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・ レールの材種	寸法・ 取付箇所
・横型	・手動 ※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動 —	・※アルミニウム合 金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・	
・縦型	・手動 ※2本操作コード ・1本操作コード式 ・電動 —	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合 金製	・図示 ・	

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ☑

13

ロールスクリーン

☑

材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備 考
・ポリエステル ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 ・	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	・図示 ・	

巻取りバイブ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

14

カーテン

(20.2.14)

形 式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備 考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示 ・
					（繪慕）

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品について
は☑ とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

15

カーテンレール

(20.2.14)

材種 ※アルミニウム製 ・ ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※ 10-90 ・
仕上げ ※アルマイト ・
形状 ※角形 ・

16

ブラインドボックス
及び
カーテンボックス

溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
表面処理・C-1
・C-2（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
・
皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による ・
・鋼製（仕上げ： ）

17

天井点検口

材 種	寸 法	形 式	外 枠	内 枠
・アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・	・屋内外用 ・屋内用	・縁縁タイプ ・縁縁タイプ ・目地タイプ ・目地タイプ
		・密閉形		

18

床点検口

材 種	寸 法	形 式	備 考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・鍵付き ・屋内用

19

耐震スリット

(20.2.15)

20

止水板

(20.2.16)

21

エキスパンション
ジョイント金物

材 種	クリアランス	耐火性能	備 考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・150	・100 ・ ・有り（ ） ・無し	

外部は防水型とする

22

くつふきマット

(20.2.17)

23

流し台ユニット

材 種	寸法 (mm)			備 考
	W	D	H	
・流し台 ・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	
・コンロ台 ・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	
・つり戸棚 ・1200 ・900 ・600	・450	・500 ・700	市販品	
・水切り ・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・	

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※図示 ・

24

旗竿

材 質	形 式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備 考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

25

旗竿受金物

形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)
・上下式鎖内蔵型 ・	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・ ・
・			

26

車止め支柱

(20.2.18)

27

フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ ・図示 ・

28

プレキャストコンクリ
ート

(20.3.3,4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を満足する割合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示
取付け方法
※図示 ・

29

間知石及びコンクリ
ート間知ブロック積
み積み

(20.4.2,3)

材 種	材 種	種 類	質量区分	備 考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブ ロック	・		・ A ・ B	

積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示 ・
伸縮目地 材種 ・図示 ・
厚さ ・図示 ・

30

鋼製書架及び物品棚

種 類	規格等	耐荷量による種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 10391による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種 ・

31

屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・

32

洗面カウンター

材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き (mm) ・約450 ・約600

33

防煙垂れ壁

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	備 考
・垂直方法 ・水平方向	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目 地	内 壁	外 壁
目地材	・シーリング材（見え掛り部のみ） ・	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法 (mm)	※幅20×深さ10 ・	※幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.21による

形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示 ・

34

収納家具

(12.2.2) (19.7.2)

材質 ・
形状・寸法 ※図示
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種

35

屋外掲示板

照明器具 ※有り ・無し
施設 ※有り ・無し

36

敷地境界石標

種類 ※コンクリートブロック製（市販品）
・花こう石類（文字記号等入り）
設置方法
横切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地盤を行い、コンクリートで根巻きして
建て込む。建込みは監督職員の立金いのもと行う。
コンクリートの割合 （容積比）セメント1：砂2：砂利4程度

工事名

令和5年度 印旛沼二期農業水利事業
基原第6号支線加圧機場建築工事

図面名

建築工事特記仕様書(8/9)

作成年月日

縮 尺

—

図面番号

A-2-8/9

会社名

事業所名

関東農政局印旛沼二期農業水利事業所

21

排水工事

① 屋外雨水排水

(21.2.1) (表21.2.1)

排水管材料

材 種	管の種類	形 状	呼び径	備 考
・通心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管 ・	・図示 ・	
○緩質ポリ塩化ビニル管	○VP ・VU ・RS-VU [G] ・DV		○図示 ・図示 ・図示 ・図示	

基礎の厚さ及び種類
緩質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
側境の形状及び寸法
排水樹の種類
砂地業に用いる材料

※標準仕様書 (21.2.1) (g) (1)
・図示

砂利地業に用いる材料
※標準仕様書 (21.2.1) (g) (2)
・図示

コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書 (6.14)
設計基準強度18N/mm2 とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・図示

・凍上抑制層
厚さ
材料

(21.2.1) (表21.2.2)
・図示
・再生クラッシュラン [G]
・クラッシュラン
・切込み砂利
・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)
砂の粒度試験
・行う
・行わない

(21.2.1)

名 称	種 類	適用荷重	鍵	備 考
鉄鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (バッキン式) ・密閉形 (チーパ・バッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーパ・バッキン式)	・T- 2用 ・T- 6用 ・T-20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209 による

(21.2.1)

材 質	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき (付着量)	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・側ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・	・細目 ・	・ () ・	・凹凸形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・側ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・	—	—	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・平行 ・

4 街きょ、緑石、側溝

(21.3.1) (表21.3.1)

種 類	形状、寸法
・緑石	・図示 ・
・L形側溝	・図示 ・
・U形側溝	・図示 ・
・U形側溝ふた	・図示 ・
・	・図示 ・

地業の材料
砂利地業の厚さ
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書 (6.14)
設計基準強度18N/mm2 とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・図示

・凍上抑制層
厚さ
材料

(21.2.1) (表21.2.2)
・図示
・再生クラッシュラン [G]
・クラッシュラン
・切込み砂利
・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)
砂の粒度試験
・行う
・行わない

(21.2.1)

5 埋戻し土

(21.2.1)

22

舗装工事

1 路床

(22.2.2,3,5)

路床の材料

種 別	材 料	厚 さ (mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・D種	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・	・図示 ・
・フィルター層	・	・図示 ・

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類
・普通ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 ()
添加量 kg (目標CBR ・5以上)
・ジオテキスタイル
単位面積質量
厚さ (mm)
引張強さ
透水係数

・60g/m2以上
・0.5～1.0
・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
・1.5×10⁻³cm/sec以上

試験
砂の粒度試験
路床土の支持力比 (CBR) 試験
現場CBR試験
路床締固め度の試験 (現場密度)

・行う
・行う
・行う
・行わない
・行わない

(22.3.2,3,5) (表22.3.1)

2 路盤

(22.3.2,3,5) (表22.3.1)

路盤の厚さ
路盤材料

・図示
・砕石
・再生クラッシュラン [G]
・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
・

試験
路盤締固め度の試験

※行う
・行わない

(22.4.2～6) (表22.4.1～4)

3 アスファルト舗装

(22.4.2～6) (表22.4.1～4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ
材料
アスファルト
骨材

・再生アスファルト [G]
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物の種類
区 分
地 域
表層

・一般地域
・寒冷地域

・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
・密粒度アスファルト混合物 (13F)

シールコートの施工
・行う
・行わない

試験
アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平たん性

・行う
・行わない
・※通行の支障となる水たまりを生じない程度

(22.5.2～4,6) (表22.5.1～3)

4 コンクリート舗装

(22.5.2～4,6) (表22.5.1～3)

コンクリート舗装の厚さ
舗装の種類
コンクリート舗装

部 位
歩行者用通路
車路及び駐車場

厚 さ (mm)
※70
・図示
・150
・図示

寒冷地の縁部立下り寸法等
材料
コンクリート
早強セメント
注入目地材料
目地
種類、間隔、構造
試験
コンクリート版厚さの試験
舗装の平たん性

・図示
・標準仕様書22.5.2Iによる
・使用する
・低弾性タイプ
・高弾性タイプ
・標準仕様書22.5.3及び図22.5.1Iによる
・図示
・行う
・行わない
・※通行の支障となる水たまりを生じない程度

(22.6.2～4) (表22.6.1)

種類・工法	部 位	基 層	厚さ (mm)
・加熱系 ・加熱系 ・常温系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 ・ニート工法 ・塗布工法	・車道及び駐車場 ・歩行者用通路	・無し ・図示 ・
		・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	3～5 1程度以下

舗装厚さの許容差
材料
加熱系混合物に添加する材料
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量
ニート工法及び塗布工法の配合等
試験
加熱系
抽出試験
舗装の平たん性

※標準仕様書 (22.4.2(C)) による
・
・着色骨材 ()
・自然石 ()
・
・
・
・標準仕様書 (22.4.6(a)～(c))
・行う
・行わない
・※通行の支障となる水たまりを生じない程度

(22.7.2,3,6)

材 料	厚 さ (mm)
ストレータスファルト	・図示 ・

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平たん性

・行う
・行わない
・※著しい不陸がないもの

7

ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備 考
※普通平板 (N) ・透水平板 (P)	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

歩行者用通路に使用するコンクリート平板は [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。
透水平板は [G] (透水性コンクリート) とする。
仕上がり面の平たん性

※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内

・

・インターロッキングブロック舗装

種 類	部 位	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm2)	備 考
※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P)	車路 歩行者用通路	※80 ※60	※5.0 ※3.0	色彩、表面加工 ・標準品 ・

歩道部に使用するブロックは [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。
透水平板は [G] (透水性コンクリート) とする。
仕上がり面の平たん性

※歩行に支障のないものとし、ブロック間の段差3mm以内

・

・舗石舗装

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層 (mm)
・小舗石 (花崗岩) ・	・	・80 ・	・うろこ張り ・	・コンクリート舗装 (※70 ・) ・アスファルト舗装 (※50 ・)

仕上がり面の平たん性
・ジオテキスタイル
品質
単位面積質量
厚さ (mm)
引張強さ
透水係数

・60g/m2以上
・0.5～1.0
・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
・1.5×10⁻³cm/sec以上

(22.9,2)

8 砂利敷き

(22.9,2)

種類

・A種 (施工範囲：
・B種 (施工範囲：

・図示
・道路
・図示
・建物周囲他

(22.9,2)

9 路面標示用塗料

JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
・1種 [G] ・2種 [G] ・3種1号	常温 加熱 溶融	液状 粉体状	・白 ・	・150 ・100	・1.0 ・

[G] 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23

植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

(23.1.3)

2 植栽基盤の整備

(23.2.2,4)

植 栽

工 法

有効土層の厚さ (cm)

整備範囲

土壌改良材

・樹木

※A種
・B種
・C種
・D種

樹高12m以上
(※100
・120
・150)
樹高7m以上～12m未満
(※80
・100)
樹高3m以上～7m未満
(※60
・80)
樹高3m未満
(※50
・60)

・葉張り部分
・植栽部分
・図示
・

・適用する
・適用しない

※芝、地被類

※B種
・

※20
・

・植栽部分
・図示
・

・適用する
・適用しない

植栽基盤の排水設備

・設ける (※図示
・)
・設けない

(23.2,3)

3 植込み用土

(23.2,3)

4 土壌改良材

(23.2,3)

・パーク堆肥 [G]
施工箇所
使用量

※植栽範囲
・図示
植栽基盤面積1m2あたり (・50l
・)

・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) [G]
施工箇所
使用量
材料

※植栽範囲
・図示
植栽基盤面積1m2あたり (・10l
・)

・
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする

(23.3,2)

5 樹木

(23.3,2)

樹種、寸法、株立数等

※図示
・

(23.3,2,3)

6 支柱

(23.3,2,3)

支柱材
防腐処理方法
形式

※丸太 (間伐材) [G]
・真竹
・
※加圧式防腐処理丸太材
・
・図示
・

(23.3,2)

7 幹巻き用材料

(23.3,2)

材料

※幹巻き用テープ
・わら及びこも

(23.4,2)

8 芝

(23.4,2)

種類
芝張りの工法
平地
法面

※コウライシバ
・ノシバ
※目地張り
・目地張り
・べた張り
※べた張り

(23.4,2)

9 吹付けは種

(23.4,2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m2)	備 考
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上		
・	・		

(23.4,2)

10 地被類

(23.4,2)

樹 種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・
・	・		

(23.3,4) (23.3,6) (23.4,7)

11 新植、移植樹木、芝等の枯保整

(23.3,4) (23.3,6) (23.4,7)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間
※引渡しの日から1年
・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年
・無し

工事名

令和5年度 印旛沼二期農業水利事業
基原第6号支線加圧機場建築工事

図面名

建築工事特記仕様書 (9/9)

作成年月日

縮 尺

—

図面番号

A-2-9/9

会社名

事業所名

関東農政局印旛沼二期農業水利事業所